

## 独立行政法人国立がん研究センター理事会（平成 23 年度第 1 回）議事録

日 時 平成 23 年 4 月 28 日（木）14:00～16:00  
場 所 独立行政法人国立がん研究センター 第 1 会議室  
出席者 嘉山孝正理事長 新井一理事 岩坪威理事 末松誠理事 武谷雄二理事  
町田睿理事 長崎武彦監事 久道茂監事 境田正樹理事長特任補佐

### 議事概要

#### 新理事の紹介

- ・今年度より、末松誠理事（慶應義塾大学医学部長）、武谷雄二理事（東京大学医学部産科婦人科学教室教授）が就任した。
- ・各理事の担当は以下のとおりとする。  
新井 一理事・・・臨床・広報・施設  
岩坪 威理事・・・研究・評価  
末松 誠理事・・・教育  
武谷雄二理事・・・国際交流  
町田 睿理事・・・経営・業務改善

#### I.理事会（第 12 回）議事録の確認

- ・資料のとおり了承された。
- ・議事録署名人を新井一理事と久道茂監事にお願いした。

#### II.報告事項

##### 1.東北地方太平洋沖地震への対応について

- ・東北地方太平洋沖地震へのこれまでの対応について、資料により報告された。

##### 2.独立行政法人評価委員会高度専門医療研究部会の開催について

- ・6 月末に開催予定の独立行政法人評価委員会高度専門医療研究部会における評価基準及び評価項目について、資料により説明がなされた。22 年度実績については、次回以降の理事会にて審議することとされた。

##### 3.事務部門及びがん対策情報センターの組織改正について

- ・事務部門及びがん対策情報センターについて、権限と責任を明確化し、より機能する組織とするため、4 月 1 日付で組織再編を行ったことが報告された。

#### 4.職員数の現況について

- ・職員数（非常勤職員含む）の推移について資料により説明がなされ、22年4月から23年4月の1年間で約300人の増員を行ったことが報告された。
- ・人件費は増となったが、患者数、研究論文数等が増となり業務のアクティビティが向上したこと、また、派遣職員を非常勤職員へ切り替えた分の増額（委託費→人件費）が大半を占めていることが説明された。
- ・非常勤職員について、例えば専門的知識を持った研究補助者の場合、現在の3年間の雇い止めの制度では優秀な人材が長く雇用できないという懸念があるため、今後制度設定について検討していくこととされた。

#### 5.研究費の採択状況について

- ・平成23年度の各種研究費の採択状況について、資料により説明がなされた。
- ・間接経費については、従来どおり、研究のインフラ整備を目的として施設において使用することとされた。
- ・文部科学省科学研究費補助金の基金化に伴う研究費の年度繰り越しについては、不適正使用が行われないように監査体制を強化することとされた。

#### 6.月次決算について

- ・2、3月分の月次決算の状況について、損益計算書及びキャッシュフロー推移表により報告された。

#### 7.病院運営状況報告について

- ・中央病院・東病院の3月分及び22年度累計の診療費請求額、患者数、病床稼働率等が報告された。

### III.審議事項

#### 1.新たな資金運用について

- ・平成23年度の資金運用計画案について説明がなされ、資料のとおり了承された。

#### 2.その他

- ・研究費不適正使用事案の対応について検討された。
- ・職員の非違行為に対する対応について報告された。